



さとぶん通信

(株)北海道新聞 佐藤販売所
 札幌市西区八軒五条西 1-1-4
 フリーダイヤル 0120-615-701
 TEL:611-5701 FAX:643-4347
 URL:http://www.doshin-sato.jp/
 facebook:https://www.facebook.com/doshinsato

北海道新聞生活面で好評連載中

「いずみ」がテレビ番組になります！

いつも北海道新聞をご愛読くださり、誠にありがとうございます。今年度5回行いました「さとぶんファイターズ懸賞」にたくさんのご応募いただき、ありがとうございました。これまで合計600組1,200名様当選のところ、延べ約1,400名様にご応募いただきました。これからも皆さまに愛される懸賞を続けていきたいと思ひます。また、前回掲載した「猫探しています」ですが、おかげ様で見つかりました。多くの情報をお寄せいただき、ありがとうございました。

北海道新聞生活面の右側にある投稿コーナー「いずみ」はご覧になったことはありますでしょうか。女性のみを対象とした募集で、毎回様々なテーマで綴られています。掲載されている年齢層も幅広く、先日は高校生の作品が掲載されていました。もう60年近く続いている、とてもご好評いただいているコーナーです。

9月2日（火）から毎週火曜夜8時54分より「いずみ～北海道くらしの詩」というテレビ番組がHTBで始まります。心揺さぶる「いずみ」の作品を毎回1点、標茶町出身の女優・高橋恵子さんが朗読します。また、スタート記念特別番組として9月2日（火）午前10時～午前10時30分に放送予定です。ぜひご覧になってみて下さい。

HTB × 北海道新聞社



「いずみ」の投稿は女性だけ、600字で。
 郵便、ファクスは原稿用紙を使い、生活部「いずみ」係、
 電子メールは izumi@hokkaido-np.co.jp へ。
 題、住所、氏名（ふりがなも）、年齢、職業、郵便・電話番号も明記。
 趣旨を損なわずに加筆することがあります。
 原稿はお返ししません。
 掲載分は記事データベースに収録します。

お盆休み、車で3時間かかる上川管内上富良野町の実家に向かった。6年生の息子は夏休み中ずっと実家に預けていた。私は平日仕事があるし、一人っ子で毎日留守番は小学生のうちには心配だからだ。もうすぐ息子に会えると思うと、つい顔がほころぶ。実家にいる息子の顔を想像するといつも笑顔だった。私はふ

いずみ 子育て

と家にいる時の息子の顔を同様に思い出し、比較した。実家にはいとこや祖父母、兄弟もいて、大家族だ。息子はお手伝いもして、虫捕りにも行つて生き生きしている様子。そんなに怒る人もいない。でも私と2人きりでいると、「部屋がきたない」「勉強したのか」「ゲームやりすぎ」「学校行く支度が遅い」と、毎日、同じことで叱られるかを気にしすぎではないか。親の目線、子供の目線は違ふものだ。生まれた当初はのびのび育てたいと思つていたはずなのに、と反省した。長い道のりで実家に到着し、笑顔で「おかえり」と私を待っていてくれた息子の顔が涙でにじんでみえた。怒りそうなきは、一呼吸置くようにしてみようと思つた。

藤原 祥子 (36歳・会社員)

—北広島市

二〇一四年八月二十八日の朝刊生活面掲載。ひとり親家庭の母親が子を思う気持ちが綴られています。

注目！地元の中高生の記事その3！

(2014年8月26日朝刊掲載)

映画「茜色クラリネット」はご覧になりましたか？琴似地区を舞台とし、中高生らが主演や監督を務めた長編映画です。これまで、さとぶん通信第7号での完成披露上映会の話、第19号でのシアターキノでの映画一般公開の話と取り上げてきましたが、また新しい記事が載っていました。

なんと「第16回ソウル国際青少年映画祭」で上映され、制作した中高生スタッフが舞台あいさつをしました。中高生のうちから色々な経験をしていて、とても羨ましいですね。制作スタッフの将来が楽しみにもなります。

この記事で勉強！

社会…記事に出てきた韓国・ソウルを地図で探し、札幌からどれくらいの距離があるか、飛行機でどれくらい時間がかかるか調べてみよう！

札幌が舞台「茜色クラリネット」

ソウル国際青少年映画祭であいさつする「茜色クラリネット」監督の坂本優乃さん(左)と、音響担当の鈴木智美さん(右)

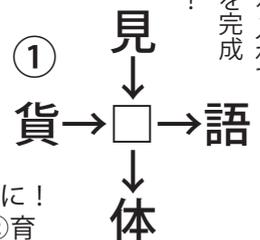
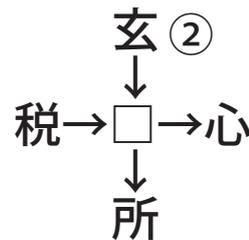


高校生監督 韓国の映画祭に来ました

【ソウル松本創一】札幌・琴似地区を舞台とし、中高生らが主演や監督を務めた長編映画「茜色クラリネット」が25日、韓国・ソウルで開催中の第16回ソウル国際青少年映画祭で上映された。監督の札幌北高2年、坂本優乃さん(16)は舞台あいさつで「中高生の素直な感覚を描いた作品です」と紹介した。

坂本さん「素直な感覚描いた」

映画祭は、世界各地で撮影された子ども向けの映画50作品をソウルに集めて上映しており、「茜色」は10代の視点による「ティーンズアイ」部門に招待された。上映後、会場からは「高校生が長編映画を作ったのはすごい」との感想が寄せられた。音響担当の鈴木智美さん(19)「札幌学院大」は「子どもの心を忘れない大人になりたい」と話した。



答えは次回！
または弊社 facebook に！
前回の答え ①外 ②育

どうしん防犯情報

ワンクリック詐欺の発生！！！！



8月22日、18歳女性がスマートフォンでインターネットを閲覧中、広告画面をクリックしたところ、「登録完了」との画面になりました。女性は退会するため、サイトに記載された電話番号に連絡したところ
○退会には9万8,800円かかる ○支払わなければ裁判になる ○キャンペーンが終わったので、通常料金29万円が追加で必要になる
と嘘を言われ、合計38万8,800円をだまし取られてしまいました。サイトの退会で高額な支払いを求められることはありません！！このような連絡を受けたときには、家族や警察に相談して下さい！

【配信：中央署】

【何かあったら西警察署まで 011-666-0110】

※今回スペイン語教室はお休みいたします。